

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第 6号 平成22年 4月12日

個の結晶が、チームの力！ 慣れないポジションにその有難さを痛感！

ゴーヘッドズ日本海に沈む・・・



4 / 1 1 (日) 駒沢公園硬式野球場にて、チーム日本海とオープン戦を行った。今日の先発を任されたのは、5 8 8日振りにマウンドに帰ってきた、メタボ幹男。過去はそれなりの巧みなピッチングで、それなりのチームから勝ち星を挙げ、長崎へと旅立っていた彼の術に、今日のメンバーは不安半分・期待半分であった。しかし、そんな彼に悲劇が待っていた。投げ終わっても、ベンチで休む事が出来なかったのである。当初のメンバーから参加者数が減り、登板後も彼は、フィールドに立たなければならなかったのである。そんな状況の中、我がチームの攻撃でゲームは幕を開けた。点が動いたのは、2回の我がチームの攻撃、この回、先頭の4番竜の4球目、それは起きた。クリーンに捕らえた打球は、センターの前に、しかし、今日の外野はボコボコ状態、そのボコに打球がイレギュラーし、一番深いセンターへボールが転々。その間に一挙ホームインし、先制点を挙げた。2回までは、先発幹男もランナーを出しながら、周囲の援護で、0封。しかし、その時は、3回に来てしまった。先頭を三邪飛に打ち取り、この回もと思ったネクスト、死球でランナーを出塁、その後は、2安打・3四球・1WPで、4点を謙譲し、逆転を許し、マウンドを降りた。翌、4回の攻撃、1死後、バッターは、先程ベラン1周の竜、その竜のまたもや4球目、チーム記録が誕生した。クリーンに捕らえた右線の打球は、長打コース、メンバーは2?3ベースかと思った。しかし、野手の打球処理が遅れた間に一挙、ホームへ、何と1試合2度のベランというチーム初記録を達成した。本人に「RHにするか?」の問いに、彼は、あれでRHだったら、毎回達成しますよ!と強気コメントであったので、記録は、右線3とした。その後、ゲームは、若干共に点数が入り、最終回9回の攻撃、先頭のジローが今日初の四球を選択、続く3番深沢が、左前安打で無死1・2塁、この絶好のチャンスに今日、2度のベランの竜、誰もが期待をした打席であったが、2球目を引っ掛け、定番の3塁ゴロで、1死1・2塁。しかし、まだチャンスは続く。打席は、目下チーム首位打者の哲也、しかし、4球目を擦り、投飛。続く打者の間に、今日初の盗塁をDSで決め、二死、2・3塁のチャンス、しかし、打球は左飛で、同点若しくは、逆転のチャンスを潰し、チーム4連勝は消えた。ゲームを振り返ってみると、チーム安打も上、エラーもなし、しかし敗戦、投手の重要差は然ることながら、今日の敗因は、雑な走塁にあったと言っても、過言ではないだろうか?先制を挙げた2回、得点差を解消しなければならぬ8回、非常に残念な走塁があった。ベランを2回も決めたメンバーがいる中で、相手から大き過ぎと評価されたリードの取り方、投手の牽制の見極めでの塁上死は、チームの士気を低下させる。次の塁を狙うという気持ちは大きく評価するが、その行き過ぎは如何なるものか?今後は、もう少し、注意深く行ってもらいたいものである。最後に、好プレーと珍プレーは紙一重、ましてや、それが、怪我に繋がる可能性も紙一重。ファインプレーをした#5も残念ながら、今日DL入りした。しかし、彼のプレーは、失点を防いだだけに、チームの士気は上がった。しかしである、トレーニング中に怪我をした#2、この詳細の状況は、不明であるが、怪我をして痛いのは、自身で有る事は間違いないが、チームも痛い事を良く知って欲しい。「怪我と弁当は手前持ち」という言葉と共に・・・